



令和2年10月13日
奈良市子ども政策課
社会福祉法人郡山双葉会

平素は本市の教育・保育行政にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。

鶴舞こども園については、平成27年3月末に民間移管することとして方針公表し、保護者や地域の方々、奈良市との間で様々な議論を行い、途中移管時期等の変更がありながらも、今後鶴舞こども園に通う子どもたちが公立園であった時と変わることなく将来にわたって元気に成長できることを目指して取組を進め、今年度より「公私連携幼保連携型認定こども園 鶴舞やまこども園」として新たな一歩を歩み始めました。

移管先法人選定に係る選定委員会及び法人選定後の三者協議会等において、保護者代表や地域の方々にも参加いただき、ご意見をいただきながらこれまで鶴舞こども園が実施してきた教育・保育をしっかりと引き継ぎ、子どもたちが自ら考えて遊びを作り出していけるような環境なども大切にいただくことを目指して協議を継続してまいりました。

今年度実施する三者協議会では、園庭整備の内容について協議を進めますが、これまで保護者や地域の方々と共に築き上げてきた鶴舞こども園の教育・保育を継承するとともに、より発展させることを目指していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

この度、令和2年9月9日に今年度第一回目の三者協議会を開催し、その内容をまとめましたので皆様にお知らせいたします。

【三者協議会概要】

日時：令和2年9月9日（水）9時10分～10時30分

場所：鶴舞やまこども園リズム室

内容：①新園舎建設工事の進捗状況について
②園庭整備（案）について

1 三者協議会の内容について

◇新園舎建設に係る工事の進捗状況について

【法人より】

- 3月にお示した行程から大きなずれは生じておらず、このまま工事が進めば12月中旬には完了検査を受検する予定となります。その後、現場作業と同時に引っ越しを進め、1月より新園舎での運営を開始する予定です。新園舎への引っ越し後は旧園舎の解体、園庭や外構工事を経て、全行程の完了は4月末頃を予定しています。

◇園庭整備（案）について

※配布予定資料の説明文より

【法人より】

- ・鶴舞こども園の時代から大事にしていたように、子どもたちが自然の中で、花遊び、草花、あわあわ遊びなど、自ら遊びを作っていくような環境を保障しつつ、園庭の真ん中では子どもが広いスペースで、のびのびとかけっこやころがし、鬼ごっこなど遊んでいた園庭のイメージを大事にします。また、子どもたちはやりたいことがいっぱい、昨日の続きをしたり、今日は何して遊ぼうか、できなかったことに挑戦できる園庭を目指し、園庭図面（案）を考えました。園庭（案）は事前に提示させていただき、保護者の皆様のご意見をうけて、取り入れられるものを検討し、再度プランを提示させていただきます。そのようにして、園庭整備についての検討を行い、令和2年11月中旬に園庭整備プランを確定する予定です。
- ・「園庭」は園児がワクワクするような園庭であること、また、自然の中で四季の自然に親しみ、感性豊かな心を育て、教育環境を十分担える園庭を作り上げていきたいと思えます。
- ・予算の関係上、反映できないこともあると思いますので、優先順位をつけて設計していくこととなりますので、ご理解をお願いいたします。

【園児のわくわくするような園庭】

- ◆園庭の周りの木々などは危険がないように整備し、可能な限り、自然な環境は残します。
- ◆砂場はさらさら砂場を2つ設置します。
 - ・3歳児と4、5歳児のそれぞれの遊びを保障するために砂場を2か所設置します。さらさら砂場は穴を掘る、山を作るが容易にでき、さらさら砂は手のひらの感触を刺激し、発達を促します。また、感触、湿り気、温度は日によって異なり、砂を触れることで変化を感じられます。
- ◆築山を設置します。
 - ・子どもたちがワクワクして挑戦できるような人工芝の築山を設置します。人工芝の築山は土が削られたり、流れたり、また型崩れの問題がなく、斜面を靴底で削っても、決して損失することがなく、また、摩擦係数が天然芝と同じのため、安心安全で長持ちし、いつまで経っても鮮やかな緑のまま園庭と同じ景観となります。また、子どもたちが寝たり転がったりすると、体感を刺激し心地よさを感じることができます。高さは低いところから高いところは120cmくらいになるように山をつくり、なだらかな傾斜や急な傾斜など、子どもたちが存分に、スリル感を持って遊ぶ築山を設置します。また、山の下には土管もあり、遊べる空間を広げます。
- ◆遊具は雲梯とジャングラミング大型遊具を設置します。
 - ・雲梯は「やってみよう」「挑戦してみよう」というやる気のスイッチが入り、何度でも挑戦できます。雲梯遊びは、握って、ぶら下がって、体を振ると同時に次に狙いをつけ、タイミングを計りながら片手になってぶら下がり、狙ったところに手をかける。一連の降りわたる動作は、いくつもの動作が同時に協応してこそ可能になります。難しい遊びでも脳が処理・判断をする力を養います。
 - ・ジャングラミング大型遊具は樹上遊びをテーマにした総合体育遊具です。ジャングルジム、すべり面、雲梯、鉄棒などあらゆる要素が盛り込まれ、変化にとんだ様々な場面が楽しさと冒険心を刺激します。ジャングラミングでの集団での群れ遊びは、体を落ちないように両手両足の使い方を考える中で培われる思考力、また、手をどのように伸ばし、次の鉄棒に渡るかを考え、実行しようとする判断力、友達と一緒にぶつからないように待ったり、間隔をあけたりしようとする社会性をも引き出し、心身のたくましい成長を促す要素を持っています。

【奈良市より】

- 当初園庭整備案については6月末頃には示される予定となっていました。コロナウイルスの影響などから、7月末の夏休み中の予定となりました。
このことについて、夏休み中の三者協議会開催が困難なことから、育友会役員の皆様との協議の結果、夏休み明けに園庭整備案を提示することとなりました。また、提示については、育友会役員の負担軽減の観点から、全保護者への図面配布時期と同時期に育友会役員の皆様にも前もって図面提示させていただくこと、図面案の配布のみでは法人の意図などが伝わらないことから、9月の保護者懇談会において、法人から園庭整備に関する説明を加えて配布することになりました。
- 11月中の園庭整備内容確定に向けて保護者皆様の意見を集約していく必要がありますが、いただいた意見全てを反映することは不可能なため、最終的には三者協議会で決定していきたくと思っています。

2 法人からの説明を受けて保護者からいただいた主な意見

① 園庭遊具にブランコを設置いただくことはできますか

法人： 予算の都合もありますが、優先順位をつけて検討させていただきます。

② 砂場については日除けを設置する仕組みになっていますか

法人： 設置する方向で考えています。

③ 遊具の中で、築山が一番大きく、ジャングラミングと雲梯の大きさが同じように見えますが、実際の大きさはどのくらいでしょうか

法人： ジャングラミングの大きさは、約5m×5mです。園庭案の図面には遊具の大きさを反映していないため、次の案を提示する際には、大きさがイメージできるような形で提示させていただきます。
また、最近は木登りなどで遊んだりすることがないため、ジャングラミングは、手や体をすくく鍛えることができ、友達と群れて遊ぶ事で、手や体、頭を使って遊び、様々な登り方や遊び方も可能となることから、子ども達がルール決めをして遊んだり、体を鍛えたり、感覚を養えるものとなっています。

④ ジャングラミングに子どもたちが殺到して、順番待ちで遊べないことにならないでしょうか

法人： ボールもさくらんぼ体操の時に交代で使ったりしているため、交代で使う時間などを決めて遊べるようにしていきたいと思います。
また、どの園でも開設から5年、10年後には遊具が増えたり、木々が育ち、子どもの遊びによって園庭も変わっていくため、子ども達に必要なものは今後増やしていくことを考えています。

⑤ 自転車やサッカーゴールなど、子ども達が自分で準備しているようなものは残されますか

法人： 図面に記載はありませんが、大型遊具が入るような倉庫も設置するため、残していきま
す。
子ども達の活動によっては、固定遊具のみでは不便なこともあるため、固定遊具と移動式の遊具で対応していきたいと考えています。

奈良市： 子どもたちが遊びやすい環境づくりが先生たちの腕の見せどころだと思うので、そういった部分は大切にさせていただけると思っています。

⑥ 鉄棒はどこに設置される予定ですか

法人： 鉄棒は現在も使用している移動式のもので対応していきたいと考えています。園庭の整備内容も予算に応じて増やしていきたいが、遊びを展開する中で設置場所なども検討していきたいと思います。

⑦ 今は先生に許可を取っておもちゃを出してきていますが、園舎が新しくなった後は設置しているものは自由に使っていいのでしょうか

法人： 園庭の状況にもよるため、設置場所も考え、出しっぱなしではなく帰りに収納するなど、方法は考えていきたいと思います。

⑧ 砂場の園庭と反対側に駐車場が設置されますが、フェンスや壁など、何で仕切られますか車が止まるイメージや仕切りの記載があった方が分かりやすいです

法人： フェンスで区切る予定をしています。

⑨ 砂場とフェンスの距離や遊んでいる時の車の向きなどで、排気ガスが気になることと、車との距離が近ければ、子どもが石などを投げてしまい、傷つけないかということが気になります。

法人： 砂場寄りの駐車場は、二重に駐車するスペースとなっており、基本的に園庭側の部分は職員用駐車場となりますので、エンジンがかかり続けていることはないと思います。また、フェンスとの境についても、園庭側に植栽を植えるなどで距離をとるような工夫はしていきたいと思います。

⑩ 園庭を囲うフェンスは今設置されているものを使うのでしょうか

法人： 原則今のものを使用していきたいと思いますが、破損している部分などは危なくないように新しく交換していきます。また、整備後にはフェンスの際まで子ども達が近付くことができるため、危なくないように木々の剪定を実施する予定をしています。

⑪ 図面にフェンスの高さなどがあった方がイメージしやすいと思います

奈良市： 図面案にはフェンス等も記載されていますが、コピーの加減で見えにくくなっているため、保護者懇談会までに修正が可能であれば対応いただき、少なくとも次の案を提示するまでには修正したものをご準備いただくようお願いいたします。

鶴舞やまとこども園に関する問合せ

[法人担当] 社会福祉法人郡山双葉会 (担当) 生田
鶴舞やまとこども園 (担当) 浅野 ・ 生田

[TEL] 0742-45-4753

[HP] <https://koriyamafutabakai.or.jp/introduction/tsurumai-yamatokodomoen/>



民間移管に関する問合せ

[担当課] 奈良市 子ども政策課 (市役所中央棟3階) (担当) 山本 ・ 高野

[TEL] 0742-34-4792 [FAX] 0742-34-4798

[MAIL] kodomoseisaku@city.nara.lg.jp

[HP] <https://www.city.nara.lg.jp/site/youho-saihen/9811.html>

